

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和6年1月19日（金）午後3時32分～午後4時35分
開催場所	小金井市役所 本庁舎 第一会議室
出席委員	内田委員、宇野委員、大藏委員、菅野委員、渡辺委員、佐藤委員長、櫻井委員、齊藤委員、松田委員、蜂委員、川上委員、植田委員、金川委員
欠席委員	大森委員、田原委員、小玉委員、佐藤委員
傍聴者	0人
会議次第	(1)一言コメント (2)小金井市の学校給食に対するご意見について (3)令和6年度の活動内容について (4)教育委員会からの報告 (5)その他
主な意見等	(1)一言コメント (委員) ・市の食育の委員もやっている。レシピも掲載しているので、HP「Koganei-Style」を検索してほしい。 ・卒業シーズンで、給食のありがたみを実感する。 ・特になし ・南小で校庭菜園の動きが出ており、盛り上がっていただけなら良いと思う。 ・食料自給率の食育リーフレットの学校配布についてと、土の栄養度を電気で測る情報について共有したい。 ・衛生面に配慮して安全安心な給食を提供していきたい。 ・1月は郷土料理、リクエスト、昔の給食を提供する予定で、3月にはバイキング給食を行う予定である。 ・冷え込んでお湯が出ない日があった。凍結への備えをしておきたい。 ・卒業シーズンであり、大人になっても記憶に残る給食を作っていきたい。

- ・学校のホームページに給食の写真を載せている。ぜひ見てもらいたい。
- ・今日の献立のカレーパンは人気があり、食べられなかった学年が残念がっていた。楽しんでもらえる給食づくりに努めたい。
- ・イエローライスを1月の学校給食週間に出す予定。レシピを受け継ぎ、改良しながら作っている。

(2) 小金井市の学校給食に対するご意見について

(会長)

前回の質問に対しての回答をお願いしたい。

(事務局)

ルールを逸脱した納入業者に対する対応について、東京都学校給食会を通じて購入する場合を除き、学校給食用の物資を納入する業者とは、誓約書を結んでいる。万が一事故があった場合は、その内容以外については、個別具体の対応となる。

次に、納入業者への指針の周知については、2年に1度行われる学校給食物資納入指名参加業者登録の際に納入業者に対してお示ししている。

次に、地場産野菜について、令和4年度の小金井市学校給食における野菜や芋の使用総量に占める地場産の割合は、12.79%であった。地場産のものを使用する場合の課題としては、「価格」・「規格」・「収穫量」・「関係者間の情報共有」が一般的に挙げられており、本市も同じ課題があると認識している。価格については、今年度から経済課が実施する補助金があり、予算の範囲で各学校に活用していただいている。情報共有に関しては、JA東京むさし、学校栄養士、行政などによる関係者会議を開催し、情報共有に努めている。また、目標値に関しては、補助金を実施する際に経済課では15%の目標を掲げていた。しかし実際には、収穫量・規格・物価の状況に左右されるものとなるため、学校給食としては、できる限り地場のものを活用していきたいと考えている。

エアコンの設置状況については、現状可動式のスポットエアコンは全校の調理室に配置されている。天井に設置されるエアコンについては、14校中7校設置済みであり、今後も順次整備を行う予定である。

(会長)

日常的な食材がどのように選定されているかと、給食調理に関して子どもたちに知ってもらう働きかけについて、栄養士から回答をお願いしたい。

(委員)

パンやごはんなどの日常的な食材の選定について、2年に一度の業者選定を行っている。パンについては、品質や安全

性はもちろん、一度に大量に使用するため、安定供給ができることが重要であり、東京都学校給食会で決められた工場から購入している。品物としては、給食会で原材料や配合、規格が決められた規格パンとパン屋独自のパンがある。ごはんについては、学校給食会の給食米を納める業者と、それ以外の米屋がある。

献立に取り入れる際に栄養士が配慮していることは、お米については基本的に予算の範囲内で選んでいる。産地や味、その年の出来を確認しながら選んでおり、特別栽培米などを取り入れることもある。新米の季節には全国の新米を日ごと献立に取り入れて紹介する取組もある。産地や、品種ごとに違う名前の由来やお米の特徴などを伝える機会にもなっている。またパンについても、基本的には予算の範囲内で選んでいる。種類や形は献立に合わせて決めているが、アレルギーの有無にも配慮している。今年度は、食料自給率向上を目的に、東京都が行った補助事業として米粉パンを使用する取組があった。その際に栄養士会で作成したリーフレットを全校で配布した。

次に、給食調理に関して子どもたちに知ってもらおう働きかけについてであるが、文部科学省の食に関する指導の目標の一つに、「食物を大事にし、食物の生産にかかわる人々へ感謝する心をもつ」とある。具体的な取組としては、毎月のお便りに写真を載せたり、毎日の給食の時間にお便りや放送で伝えたり、巡回の際に手作りしていることを伝えている。ホームページで調理の様子を動画で紹介している学校もある。朝会や授業などの際、給食室の1日の動画を見せたり、調理員が話をする場合もある。職場体験の一環として、栄養士から話をしたり、実際に職場体験を受け入れている学校もある。長期休業の間を利用した子どもたちの給食室見学もあり、実際に回転釜に水をはり、ヘラで混ぜる体験をすることもある。さらには、給食委員会による調理員へのインタビューであったり、掲示物で紹介をしたり、給食室の中を覗く小窓がある学校もある。このような形で、各校それぞれの方法で子どもたちへの働きかけを行っている。

(会長)

ほかの自治体と比べた小金井市の給食について、事業者からご意見をお願いしたい。

(委員)

みんなの給食委員会のような会が他自治体にはなく、小金井市は栄養士や学校、市民も含めて給食に対する熱意が強いと思う。

(委員)

他自治体は給食センターも多いのか。

(委員)

立川、小平、府中、八王子など、東京都の西側にセンター方式へ切り替える自治体が多いように思う。小金井市は全校自校式であるため、温かい給食が提供できる。

(委員)

調理員に聞いたところ、他自治体と比べ大きな違いはないが、小金井市は洗浄時の工程が多く、エプロンの色種類も多いようである。

(委員)

作る側からすると作業工程が煩雑なのか。

(委員)

衛生面をとるか、工程の簡略化を図るか、見方によると思う。

(委員)

小金井市は地場産野菜の活用が多く、食育に熱心であると思う。

(委員)

地場産15%の目標年はあるのか。また地場産とは、小金井市産ということか。

(事務局)

経済課では目標年は定めていない。また、地場産とは小金井市産を指している。

(委員)

他自治体と比べ、給食室のエアコンや器具の差はあるのか。

(委員)

エアコンがない自治体もある。エアコンがあったとしても、質の問題もある。

(委員)

教育費の予算の割合が他自治体に比べて低いのはなぜか。

(委員)

前からの問題であるが、小金井市は他にも予算が必要なものがあるためだと思う。また、改めて自校式で各校に栄養士がいるのは良いことだと思うが、栄養士のお考えを伺いたい。

(委員)

子どもたちのリアクションがすぐに分かり、反映できる点は良い。

(委員)

今もワゴンで運んだり、給食室の中が見えたり匂いを感じることができるのか栄養士へ伺いたい。

(委員)

今もワゴンで運んでいる。学校にもよるが中が見えたり、匂いを感じる教室もある。

(委員)

給食無償化の動きで、各自治体が一律の対応となり、小金井市の良さが消されてしまうようなことがないと良いと思

う。

(委員)

生ごみ乾燥機は小金井市独自のものか。

(委員)

他自治体でもあったが、廃止しているところもある。

(委員)

作られた堆肥を活用した野菜を給食に使うサイクルは良いと思う。一方でその堆肥があまり活用されていないのは残念に思う。

(委員)

堆肥は活用されている。あと、お米についてであるが、7分づきは使っていないのか。検討はしないのか。

(委員)

雑穀米や玄米を時々入れることがあるが、7分づきは検討していない。

(会長)

では、これまでの質疑や今年度の活動を踏まえて、各委員ご意見があればお願いしたい。

(委員)

- ・みんなの給食委員会と自校式と各校に栄養士がいるということは恵まれた環境だと思う。引き続き守っていただきたい。
- ・働く方のことを考えた職場環境づくりと、こうした伝え合う場が大切だと思う。
- ・この委員会で改善されたことがあるか疑問に思う。
- ・国産小麦のパン、有機栽培の米、地場野菜の活用をお願いしたい。
- ・おいしい給食と携わる方々に感謝したい。

(会長)

今後とも給食への応援をお願いしたい。

### (3)令和6年度の活動内容について

(事務局)

本年同様1年間の会議とし、年4回の開催と、開催時間は午後3時30分から午後4時45分を基本としたいと考えている。本会は学校給食の見守り支援を目的としている会となっており、例年同様「給食試食会」「農家見学」「講演会」を開催する形で、次年度の委員へ申し送りしてはどうかと考えている。なお、講演会の内容については来年度検討が必要となる。

(委員)

試食会の対象に農家を入れるのは良いが、子どもたちと食べてもらうことはできないか。

(会長)

この会では難しい。校長会で伝えたい。

	<p>(4)教育委員会からの報告  (学務課長)  ・令和8年度に予定する東小学校・本町小学校の給食調理業務委託に係る説明会の日程が決定した。①2月8日木曜午後7時から東小学校体育館、②2月10日土曜午前10時から小金井市役所第二庁舎8階801会議室、③2月13日火曜午後7時から本町小学校体育館の3回開催する。ホームページ及び2月1日号の市報で周知を行う。</p> <p>・学校給食調理業務の委託を進めていく中、市では、給食の質を客観的に判断するため、第三者評価を令和6年度から実施する予定である。第三者評価の評価員には、調理について高度な知識を持った外部の専門家に参画いただけるよう、現在最終調整を行っている。現場視察や試食の行った上で評価を実施し、評価員からの指摘や助言を受け、適宜改善に取り組んでいく。また、評価結果は、みんなの給食委員会において説明する機会を設け、市民とともに目指す「指針の推進」、「見守り支援」が実践できるよう努めていく予定である。</p> (委員) 学校調理のプロを評価員に入れてはどうか。 (学務課長) 調理師を養成する立場にある高度な知識をもつ方をお願いする予定である。 (委員) 豊富なメニューに対応する必要がある学校給食なので、レストランとは異なり、特色を理解した上での評価をお願いしたい。 (学務課長) 評価への影響は分からないが、この委員会で評価説明を行う際、そうしたご意見を直接お伝えいただけたらと思う。本日のご意見は実施前の調整の中でもお伝えしておく。 (5)その他 (会長) 今年度はこれで終了となる。給食について多くの人に知ってもらい、今後も応援していただきたい。 (委員) 公募委員は改めて選考があるのか。 (事務局) 任期が今年度末なので、また改めて選考を行う予定である。
決定事項	なし
次回の開催	未定